

所、そして社会参加できるきっかけになって欲しい場所です。

この所、引きこもりの子供さんを持つ親御さんが相談にいらしたり、親子での参加も増えてきたり、ささやかですが大切な場所になっているのを感じます。

精神障害は病院での治療と共に地域の人達との触れ合いがあってこそ病気の回復と生きる自信に繋がるという事を深く感じたことがありました。

中央商店街に商売堂という所があります。2年ほど前に2ヶ月間ほどでしたが、中央商店街のご好意で商売堂の2階の一角にともしび作業所の製品を並べ来てくださった人にコーヒーを飲みながらお喋りができるスペースを作りました。毎日作業所のメンバーさん、指導員さん、ボランティアさんがローテーションを組んで商売堂へ出ました。

商売堂に出店している人達や地域の人達が訪れてくださり製品を買ってくださったり、コーヒーを飲みながらメンバーさん達とお喋りしたり……。そんな毎日、来ているメンバーさんたちの顔がとっても輝いているんです。作業所ではあまり話さないメンバーさんが商売堂へ来た時は、訪れてくださった人達に自分から積極的に色々語りかけ、お客様との会話が弾みます。ずっとこのような場所があったらどんなに良いだろうと思いました。

作業をする所は勿論必要ですが、それ以外に地域の中で市民の一人として安心して普通に過ごせる場所が本当に必要であると感じながら、いろんな形で一緒に支援して下さる人を求めています。

残念ながらまだまだ地域の中には、心病む人達が安心して出かけられる居場所がありません。どのような障害があっても一人の市民として地域の人達と一緒に生き、自分の持っているものを生かしていろんな形で仕事に就けるような社会になるように、一人でも多くの人がいろんな立場で関わってくださることを心から願っています。

人生はお互い様、みんなが幸せであって欲しいという思いで支え合い、誰もが共に生きていくと実感できる三条市になって欲しいと心から願っています。

最後に、ある家族の声をお伝えしたいと思います。

「私たちの願い」

普通の人と同じように生きたい

ささやかな願いに耳を傾けてくれる人

声をかけてくれる人

一緒に肩をならべて歩いてくれる人

そんな人が一人でも多くなってほしい

今日この場に参加させていただけるきっかけを作って下しました松メガネ店さんと多くの皆様に聞いて頂くご縁を頂きましたことを心から感謝致します。今日は本当にありがとうございました。

3月29日例会：会長エレクト研修報告会

4月5日例会：「ロータリー雑誌月間」

4月10日例会：（日）例会日変更「観桜例会」

4月19日例会：卓話

4月26日例会：卓話



会長／斎藤 正
幹事／小林 満
SAA／阿部勝子

三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを 祝おう 100年の歩み

例会日
2005. 3. 22
累計 No 888
当年 No 32

国際ロータリー会長 グレンE. エステス シニア 第2560地区ガバナー 横山芳郎

ホームページ <http://www.2nextne.jp/district2560/>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行事：卓話「共に生きる」精神保健ボランティアグループふきのとう 小林久美様

出席：本日の出席 62名中 40名

先々週の出席率 62名中 51名 82.56%（前年同期85.00%）

先週のメイクアップ：3月16日 長岡東RCへ 山上茂夫さん

16日 三条RCへ 石川 勝行さん、西村 護さん、笹原壮玄さん

岡田 健さん

16日 地区拡大委員会 中條耕二さん、斎藤 正さん

米山忠俊さん、今村 泉さん

馬場直次郎さん、石川友意さん

ゲスト：精神保健ボランティアグループふきのとう 小林久美様

オブザーバー：鈴木 毅様

会長挨拶：斎藤 正会長



原、野沢パストガバナーのお二人が奇しくも21日ご逝去されました。振り返ってみますと原年度では今井会長、故本間（茂）幹事、野沢年度では木宮会長、山中幹事のもとでそれぞれ素晴らしいクラブ運営がなされ、まるでそれが昨日の出来事の様に思い出されます。ガバナーとしての指導内容方針については年度によって多少の違いはあるわけですが野沢年度では強力なリーダーシップで地区を引っ張ってこられた生前のお姿が目に残ります。まもなく迎える中條年度ではそのお力をお借りしなくてはならない最も大切なおひとりであると考えていただけない無念の極みです。お二人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

3月17日丸山 勝会員のご尊父ご逝去による通夜が執り行われ読経の後、真宗大谷派の住職による法話の中で神社仏閣の前に置かれている、昔、高麗から渡来したうずくまった獅子に似た一對の像、狛犬にふれられた。口を開けた一頭は“ア、と表現され口を閉じた一頭は“ン、と解せるという。

“ア、ン、”で生死を表すとの由。私なりに解釈したのが50音は“ア、”から始まり“ン、”で終わる勝手な考え方だろうか。さらに生と死は切り離して考えるのではなくこの狛犬の様に一対として捉えることでもあるのだろうか。

春の彼岸です。先祖を敬う心を大切にしたいものです。 合掌

幹事報告： 小林（満）幹事

・新潟西RCより 創立30周年記念式典のご案内

日時 平成17年6月12日（日）10：00～

会場 ホテルオークラ新潟

・パストガバナー野沢謹五氏が逝去されました。

通夜 3月24日午後7時～

告別式 25日午前10時～

会場 セレモニーホール青山会堂

・パストガバナー原 猛氏が逝去されました

通夜 3月23日午後7時～

告別式 24日午前10時～

会場 セレモニーテークつたえ

ニコニコボックス：	22日現在累計 815,000円
-----------	------------------

斎藤正君 卓話をいただき小林さんご多忙の所有難うございます。よろしくお願い致します。
ゲストの鈴木さんロータリーの雰囲気をお楽しみ下さい。

小林満君 //

阿部勝子君 //

中條耕二君 誠に残念至極、先輩野澤謹五氏のご急逝を心から悼めます。この間親しくお会いしたばかりなのに、ロータリーにとっても大切なお方でありました。心からご冥福をお祈りします。

斎藤興一君 春を食べました。（ふきのとう）ほろにがいのが春の味でした。今日自治会の用で早退させて下さい。

横田加代子君 小林久美さん今日本当にありがとうございました。

今村泉君 小林久美さんの卓話楽しく聞かせていただきます。

石川友意君 ふきのとう小林様を歓迎して!!

笹原壮玄君 久美講師様を歓迎して。暑さ寒さも彼岸までと云いますがこれから寒くなるそうです。お体を大切に。

山崎勲君

本間建雄美君 ニコニコBOXに協力。

落合益夫君 BOXに協力。

卓話： 「共に生きる」 精神保健ボランティアグループふきのとう 小林 久美様



三条北ロータリークラブ様には、ともしび会の賛助会員として、毎年ともしび会、ともしび工房共々ご支援いただき心からお礼申し上げます。

私は平成11年に三条市が開催しました、第1回「精神保健ボランティア講座」にご縁を頂きました。三条に嫁いで30年経った時始めて、三条市に住む精神障害を持ち、様々な生活のしづらさを抱えながら一生懸命生きている当事者の人達と、多くの偏見に大変つらい思いをしながら生きている家族の人達と出会いました。

100人に一人の割合で発病する精神障害は脳の病気であり特別な病気ではなく誰でも罹りうる病気であることを一人でも多くの人達に理解して欲しいという思いと、当事者の人達が市民の一人として、地域の中で普通に安心して生活して行ける事への支援をさせて頂ければという思いで発足したのがふきのとうです。

当時、精神障害を持つ人達への政策は、その他の障害に比べて10年以上遅れていると聞きました。就労への支援も昨年、行政の機関の中で半日の仕事に5人が就くことができ、やっと一筋の光が見えたところです。精神障害を持つ人達の職親も三条にはまだまだ無いような事も聞いています。

精神障害というと、その人の全部が精神障害と思ってしまいませんか？病気はその人のほんの一部にすぎないのです。他の病気と同じなのです。病気を正しく理解し、一人の市民として接して下さる事で地域の中には仕事が出来ることが多々あるのではないかと感じます。私のような主婦だけではなく、さまざまなお仕事についているトップの方々には是非病気を正しく理解し、触れ合う機会を持って頂きたいと願っています。そのようなお声があれば、私たちは喜んでそのような場を作るお手伝いをさせていただきます。

私たちが最初にどのような形で交流を持つのが一番良いのだろうと考えた時、やはり食べる事を通して交流するのが一番心を開きやすいのではということで、当事者の人達と一緒に料理を作ったり一緒に楽しくお喋りしながらの昼食会「落ちゃんレストラン」を始めたのが平成12年です。ともしび工房の2階、ふれあいセンター青空の部屋で開催しています。最初の頃はともしび作業所に通っているメンバーさんだけの参加でしたが、回を重ねるごとに家族の人達、地域の人達、栄町、下田村の当事者の人達や家族の人達、又安心して出かけられる場所を求める人達が来てくださるようになり嬉しく思っています。ここではみんなが一人の人間同士として一緒に楽しく過ごしています。

毎月1回土曜か日曜に開催し参加費は300円、参加人数は平均25名位です。

又、4年ほど前から年1回ですが地域の人達へ向けて理解を広める事と精神障害を持つ人達の社会参加の場として、地域の人たちとの交流の場としてイベントを開催しています。今年は「いいじゃん、ありのままで」というトークイベントを3月27日に開催します。実際に病気を体験された人達のトークを通して、誰もが自分のままで生きて行けるんだよという生きるヒントの分かち合いのイベントです。出演者の中の三条に住んでいらっしゃるk a c c oさんとイベントの打ち合わせがきっかけで、昨年8月から毎月2回「k a c c oとしゃべり場」を大崎の一軒家をお借りして開催しています。この会もいろんな形で心に病を持っている人達が安心して出かけられ、安心して何でも話が出来る場所です。同じ悩みを持つ仲間同士が心置きなくお喋りできる場所、地域の人達と普通に交流できる場